



平成 21 年 4 月 9 日

各 位

株式会社マーベラスエンターテイメント  
(コード：7844 東証第二部)  
代表者名：代表取締役社長 中山 晴喜  
問合せ先：執行役員 中山 郁伸  
(TEL：03 - 5793 - 9170)

### 第三者割当により発行される株式の募集に関するお知らせ

当社は、平成 21 年 4 月 9 日開催の当社取締役会において、下記のとおり第三者割当により発行される株式の募集を行うことについて決議いたしましたので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 第三者割当により発行される株式の募集の目的

当社の事業領域であるエンターテインメントコンテンツ業界では、高速通信環境の普及によるコンテンツ配信市場の拡大や Blu-ray Disc などの大容量メディアの登場、更に「プレイステーション 3」、「Xbox360」といったハイエンド・ゲーム機の普及など、激しいメディアの変化が起こっており、この変化への対応によって企業の優勝劣敗が決まるものと考えております。

当社はこの変化を「チャンス」と捉え、ハイエンド・ゲーム機向けゲームソフト開発に本格的に着手し、平成 23 年 3 月期までの発売を目指します。

高度な画像処理能力や贅沢なグラフィック機能を有するハイエンド・ゲーム機向けゲームソフト開発は資金的に大きなプロジェクトとなりがちですが、当社では高騰する開発費を複数のプラットフォームで回収するため、マルチ・プラットフォーム展開を開発戦略の柱とし、約 10 億円の開発費を見込んでおります。また、日・米・欧世界三極にまたがる販売体制を敷き、投下資金の回収効率を高めます。

今回の開発投資に伴う資金調達にあたっては、現状の金融情勢を総合的に鑑み、投資家の需要動向に左右されず確実に資金調達を実現するために、開発費総額約 10 億円の半額にあたる約 5 億円について中山晴喜（当社代表取締役社長）を割当先とする第三者割当増資によって行いたいと考えております。中山晴喜は当社の経営のリーダーシップを取る立場にあり、ハイエンド・ゲーム機向けゲームソフトを成長ドライバーとして、株主価値を向上させる必要性を最も認識しております。

一方、当社の財務状況を振り返ると、平成 21 年 3 月期の通期連結業績は、国内ゲーム市場における主力タイトルの追加受注の減少、平成 21 年 3 月に発売を予定していた国内 1 タイトル（ゲーム）の開発遅延、国内 2 タイトル・欧州 3 タイトル・北米 1 タイトル（ゲーム）に関する戦略的な発売の延期、「棚卸資産の評価に関する会計基準」の適用によるデジタルコンテンツ資産の評価減

並びに平成 21 年 7 月に予定している本社移転に伴い発生する損失見込額の計上などにより、赤字決算を余議なくされており、平成 21 年 3 月末時点で株主資本の利益剰余金部分がマイナスとなる見込みであります。今回の第三者割当増資によって調達する資金約 5 億円は、この株主資本のマイナス部分に相当する金額であり、株主資本を増強し財務の安定性を高めるためにも必要なものと考えております。

なお、今回の第三者割当増資にあたっては、中山晴喜が、特別の利害関係を有する取締役役に該当するため、取締役会の審議および決議には一切参加しておりません。

## 2. 調達する資金の額及び用途

### (1) 調達する資金の額（差引手取概算額）

496,865,000 円

### (2) 調達する資金の具体的な用途

第三者割当増資による資金の用途につきましては、新株式発行価額の総額 499,865,000 円から発行諸費用の概算額 3,000,000 円を差し引いた残額全額について、ハイエンド・ゲーム機向け当社オリジナルタイトルのゲームソフト開発資金に充当する予定です。

また、今回の第三者割当増資によって、当社の株主資本が増強され財務の安定性を高めることが出来るものと考えております。

### (3) 調達する資金の支出予定時期

平成 21 年 5 月～平成 22 年 3 月

支出予定時期までは、低リスクの資金管理を行います。

### (4) 調達する資金用途の合理性に関する考え方

ハイエンド・ゲーム機向けゲームソフト開発は、当社の継続的な成長を実現するために不可欠なものであり、中期的な株主価値の向上につながると考えられることから、資金用途には合理性があるものと判断しております。

### 3. 最近3年間の業績及びエクイティ・ファイナンスの状況

#### (1) 最近3年間の業績（連結）（単位：千円）

決 算 期	平成18年3月期	平成19年3月期	平成20年3月期
売上高	9,196,560	12,487,743	12,387,904
営業利益	574,054	△1,052,402	352,640
経常利益	609,540	△1,053,989	326,952
当期純利益	529,186	△1,525,938	791,462
1株当たり当期純利益（円）	13,176.30	△18,072.13	9,368.63
1株当たり配当金（円）	1,250.00	—	750.00
1株当たり純資産（円）	80,905.88	21,975.39	30,897.96

(注) 1. 平成18年3月31日最終の株主に対し、平成18年4月1日付で株式1株につき2株の分割を行っております。

2. 平成20年3月期の一株当たり配当金750円には、特別配当125円を含んでおります。

#### (2) 現時点における発行済株式数及び潜在株式数の状況（平成21年3月31日現在）

種 類	株 式 数	発行済株式数に対する比率
発行済株式数	84,480株	100.00%
現時点の転換価額（行使価額）における潜在株式数	—	—
下限値の転換価額（行使価額）における潜在株式数	—	—
上限値の転換価額（行使価額）における潜在株式数	—	—

#### (3) 最近の株価の状況

##### ① 最近3年間の状況

	平成19年3月期	平成20年3月期	平成21年3月期
始 値	170,000円	45,050円	32,300円
高 値	187,000円	47,300円	36,350円
安 値	39,000円	31,600円	11,500円
終 値	45,000円	32,450円	13,010円

##### ② 最近6か月間の状況

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
始 値	19,600円	21,040円	19,700円	18,050円	18,500円	15,390円
高 値	21,400円	21,990円	19,700円	19,500円	19,450円	15,390円
安 値	12,500円	19,300円	17,000円	18,000円	16,570円	11,500円
終 値	21,000円	19,900円	17,950円	18,700円	17,390円	13,010円

③ 発行決議前日における株価

	平成 21 年 4 月 8 日現在
始 値	12,660 円
高 値	13,000 円
安 値	12,650 円
終 値	12,850 円

(4) 今回のエクイティ・ファイナンスの状況

・第三者割当増資

発 行 期 日	平成 21 年 4 月 27 日
調達資金の額	496,865,000 円（発行価額の総額：499,865,000 円）（差引手取概算額）
募集時における 発行済株式数	84,480 株
当該増資による 発行株式数	38,900 株
募集後における 発行済株式総数	123,380 株
割 当 先	中山晴喜（当社代表取締役社長）

(5) 最近3年間のエクイティ・ファイナンスの状況

該当事項はありません。

#### 4. 大株主及び持株比率

募集前（平成 20 年 12 月 31 日現在）		募集後	
(株)アミューズキャピタル インベストメント	21.78%	中山晴喜	44.90%
中山晴喜	19.53%	(株)アミューズキャピタル インベストメント	14.91%
(株)ポニーキャニオン エンタープライズ	1.89%	(株)ポニーキャニオン エンタープライズ	1.30%
日本生命保険相互会社	1.89%	日本生命保険相互会社	1.30%
自社（自己株口）	1.63%	自社（自己株口）	1.12%
吉田正樹	1.13%	吉田正樹	0.77%
松本慶明	1.00%	松本慶明	0.68%
マネックス証券(株)	0.99%	マネックス証券(株)	0.68%
みずほキャピタル(株)	0.98%	みずほキャピタル(株)	0.67%
(株)東北新社	0.95%	(株)東北新社	0.65%
(株)ムービック	0.95%	(株)ムービック	0.65%

#### 5. 業績への影響の見通し

今回の第三者割当増資による資金は、平成 23 年 3 月期までに発売予定のハイエンド・ゲーム機向け当社オリジナルタイトルのゲームソフト開発資金に充当する予定であり、平成 22 年 3 月期連結業績への影響は軽微であります。

## 6. 発行条件等の合理性

### (1) 発行価額の算定根拠

今回の第三者割当増資に係る取締役会決議の直前日までの最近一カ月間（平成21年3月9日から平成21年4月8日まで）に株式会社東京証券取引所が公表した当社株式の終値の平均値（出来高のあった日の最終価格の合計を出来高のあった日の日数で割った金額）12,730円（十円未満切り上げ）と、取締役会決議の直前日（平成21年4月8日）に株式会社東京証券取引所が公表した当社株式の終値12,850円を比較して高い方の金額12,850円を発行価額（ディスカウント無し）としました。また、ディスカウントを行わないことにつきましては、割当先である中山晴喜（当社代表取締役社長）と協議の上、決定いたしました。

なお、上記の発行価額の算定根拠につきましては、日本証券業協会の「第三者割当増資等の取扱に関する指針」に準拠するとともに、弁護士からの法的助言を受けた上で決定しております。

### (2) 発行数量及び株式の希薄化の規模が合理的であると判断した根拠

今回の第三者割当増資により新規に発行する株式数は38,900株であります。これは、現在の発行済株式総数（募集前）の46.0%にあたり、結果として株式の希薄化が生じるものと認識しております。しかし、中期的にはハイエンド・ゲーム機向けゲームソフトを成長ドライバーとして、今回の株式希薄化割合を上回る株主価値を創出できると考えております。したがって、発行数量及び株式の希薄化の規模は既存株主にとっても合理的であるものと判断いたしました。

## 7. 割当先の選定理由

### (1) 割当先の概要

割当先の氏名	中山 晴喜	
住所	東京都世田谷区	
当社と割当先の関係等	資本関係	割当先中山晴喜が保有している 当社の株式の数： 16,499株（平成20年12月31日現在）
	取引関係	該当事項はございません。
	人的関係	当社代表取締役社長 最高経営責任者 兼 アドミニストレーションデパートメント チーフ アドミニストラティブオフィサー
	その他	割当先中山晴喜が代表取締役を務める 株式会社アミューズキャピタルインベストメント が保有している当社の株式の数： 18,400株（平成20年12月31日現在）

### (2) 割当先を選定した理由

増資割当先である中山晴喜は、持株比率第二位（募集前）の大株主であり、同時に当社の代表取締役社長として経営のリーダーシップを取る立場にあります。したがって、ハイエンド・ゲーム機向けゲームソフトを成長ドライバーとして、株主価値を向上させる必要性を最も認識しているものと判断しております。

また、現状の金融環境を総合的に鑑みて、投資家の需要動向に左右されず、確実に資金調達を実現するため、本増資の割当先として中山晴喜が適切であると判断し、選定いたしました。

### (3) 割当先の保有方針

本増資の割当先である中山晴喜（当社代表取締役社長）は、長期保有の方針であります。

なお、新株発行日から2年以内に譲渡する場合は、直ちにその旨を当社に書面により報告する旨の内諾を得ております。

以 上

(別添) 発行要領

- |  |  |
|--|--|
| (1) 発行新株式数                             | 普通株式 38,900 株                                    |
| (2) 発行価額                               | 一株につき、金 12,850 円                                 |
| (3) 発行価額の総額                            | 499,865,000 円                                    |
| (4) 資本組入額                              | 249,932,500 円                                    |
| (5) 募集又は割当方法                           | 第三者割当増資の方法により全株を中山晴喜<br>(当社代表取締役社長)に割り当てます。      |
| (6) 申込期間                               | 平成 21 年 4 月 27 日 (月曜日)                           |
| (7) 払込期日                               | 平成 21 年 4 月 27 日 (月曜日)                           |
| (8) 新株券交付日                             | 平成 21 年 1 月 5 日施行の株券電子化後の発行であるため、<br>新株は発行されません。 |
| (9) 前記各号については、金融商品取引法による届出の効力発生を条件とする。 |  |

以 上